

しまね いきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<http://www.teiju.or.jp/>

2018



月号 Vol.117



今月の見どころ

- P1.「地活っちゃんが行く！」知りたい！
子ども食堂ってどんなところ！？島根にもあるの？
- P2.農業・農村はカッコいい！和歌審査結果、地域づくり
応援成事業公開審査会、オールスター祭告知
- P3.助成金・イベント情報
- P4.島根で頑張る人
わっしょい志々会 桐原 敏さん



第18回

知りたい！

「子ども食堂」ってどんなところ！？島根にもあるの？

今、全国で話題になっている「子ども食堂」ですが、なんとなく分かっているようで、実はどういう取組みなのか詳しくは知らない、そんな人も多いのでは？【経済的な事情により家庭で十分な食事がとれなくなった子どもに、無料もしくは安価な食事や居場所を提供する活動の事】として始まった子ども食堂ですが、貧困家庭の子どもに向けた取組みという事から「行きにくい」という声や、誤解、拒絶反応を引き起こす場合もあり、ネーミングを変え、対象者を広げるなどの工夫をしながら運営されているところもあります。今回は運営に関わる人たちの声を聞き、こうした“課題”も含め、子ども食堂の実態についてその一部を紹介します。私達は、どんな支援ができるのでしょうか？これをきっかけに近くの「子ども食堂」を探して足を運んでみるのはいかがですか？

「子ども食堂」について聞いてみました



松江市の子ども食堂「なないろ食堂」を運営している、地域つながりセンターの事務局を訪問してきました。「こどもが一人でも来てもいいよ。遊びと学習の場所だよ。誰もが参加できるよ」というメッセージを前面に、去年の8月にオープン。「一人でごはん

を食べているのは子どもだけ！？孤食(個食)で寂しさを感じている大人もいるはず。誰もが来やすい場でないといけない」との思いで始まった「なないろ食堂」には、現在0歳～80歳代の幅広い年齢層の方が集まっています。最近では、餅つきやジャガイモの植え付けなどの地域行事も一緒に行き、学校や地域の方の理解・協力が徐々に得られるようになっていきます。もっと学校や行政、子ども会や公民館、様々な機関と線を引かずに連携を持たら、地域全体で居場所作りができるのではないかと感じているそうです。「子ども食堂は切り口で、地域の子どもを含めた大人も豊かに関わり合い、安心感を抱ける場所や環境を作りたいという願いが根底にある。これからも多くの人に利用してもらい、広く知ってもらいたい」と語ってくれました。

「子ども食堂」から

一度来てみて！

大人も子どももみんなが利用できます！

《どんな課題があるの？》

- ・どうしても固定メンバーになりがち
- ・ボランティア不足
- ・まだまだ周知がされていない
- ・本当に必要としている人に伝わってる？
- ・もっと地域機関との連携を作れないか…！



《どんな工夫をしているの？》

- ・開催日や時間帯を変更して普段と違う層にもアプローチ
- ・地域ぐるみで一緒に楽しめるイベントと合わせている
- ・寄付を無駄にしないよう量と質を考えた献立作り
- ・子ども食堂からネーミングを変えて、利用者の対象を広げる
- ・直接農家に通い、野菜をもらいに行き食材を調達する
- ・地域の小学校にチラシを配ってもらい保護者に周知
- ・保育園、療養施設等の利用者への声掛け などなど…

県内の子ども食堂に行ってみよう！応援しよう！

松江

■なないろ食堂

毎月第3土曜 次→平成30年1月20日
10:00-15:00 TEL:0852-67-3088
場所:介護療養施設「虹」1F
地域つながりセンター

■めしCaféさんびきのこぶた

平日不定期 17:00-18:30 (水曜休み)
TEL:080-4356-2979
場所:東津田町 1200-6

安来

■畑食堂

月1回程度
NPO法人真知子農園
TEL:0854-22-6460
場所:真知子農園

畑食堂は子どもを限定しておらず、皆で畑作業した後に、野菜の食卓を囲みます。

大田

■おおだ子ども食堂

毎月第3土曜 次→平成30年1月20日
17:00-19:00 TEL:090-4897-4308
場所:大田ルーテル教会

■みーる堂

毎月第3水曜 次→平成30年1月17日
12:00-14:00 TEL:0854-83-7373
場所:サロン・ド・ゆきみーる1F
NPO法人緑と水の連絡会議



どんな支援ができるの？

- ・寄付、募金
- ・備品、食材の提供
- ・ボランティア参加

“農業・農村はカッコいい！”和歌募集

審査結果！

12月3日（日）に雲南市の古代鉄歌謡館で開催された「第3回“農業・農村はカッコいい！”和歌募集」の最終審査会及び表彰式。最終審査会に進んだ9名のうち7名によるパフォーマンスが行われ、工夫を凝らした発表の数々に、観客の皆さんも大いに盛り上がっていました。作品と結果は以下の通りです。（審査会の様子や入選作品については財団HPをご覧ください。）



【最優秀賞】

岐阜県揖斐川町 牧村幸さん
玉の汗ぐいっと雑草引っこ抜くそれがどうしたまた芽吹いてる

【秀作】

岐阜県八百津町 細江隆一さん
旅先でも野菜の育ち気がかりで
スマホで指令飛ばす父あり

【優秀賞】

東京都新宿区 高尾康太さん
「おかえり。」と夕日の睦道振り向けばとなりのおばちゃん両手に赤かぶ

島根県海士町 笹鹿岳志さん
海土の手で捕りし魚を糧として
吾子の巢立ちぞいとおしく待つ

島根県出雲市 澤野真利子さん
うのようによときらきら光る宝物土から作るミミズと共に

島根県大田市 竹内恒治さん
イノシシをさばいて知った温かさ
田舎に来て知る命のめぐみ

【特別賞】

島根県隠岐の島町 五十嵐杏美さん
真夏日に探し当てたはどろメイク今夏探すはすっぴんゴーヤ

【パフォーマンス賞】

島根県松江市 達山暢さん
ふるさとに戻りふたび組むバンド立ち位置変わらず音色もそのまま

【秀作】

島根県出雲市 小松正嗣さん
日が沈み娘を想って軽トラのハンドル握る泥入りの爪



作品は「田舎暮らしの本 2月号」（1/4発売）にも掲載される予定です。入賞された皆さま、おめでとうございます★

1月12日（金）公開審査会 / 平成29年度第2回地域づくり応援成事業（事業化支援）

今年度2回目となる地域づくり応援成事業（事業化支援）の公開審査会が行われます。団体によるプレゼンテーションはどなたでもご覧いただけますので、ぜひ皆さまお越しください。



日時	平成30年1月12日（金）
場所	松江テルサ4階 大会議室
プログラム	13:00～14:40 プレゼンテーション（公開） 14:40～14:50 休憩 14:50～15:50 審査（非公開） 15:50～16:20 結果発表・講評（公開） 16:20 閉会

- 【公益重視型】申請団体・事業名
 - ①古代出雲薬草探究会（出雲市）
未来へ繋ぐ『古代出雲は薬草の国』事業
 - ②吉栗ドリーム（出雲市）
羊の里づくりによる交流人口拡大事業
 - ③離島コミュニティハウスプロジェクト（知夫村）
暮らしまるごとおすそわけ「よしまんち」事業
 - ④特定非営利活動法人福田平治与志顕彰会（松江市）
国の有形文化財に登録された記念館を「あいサポーター」研修と福田兄妹の顕彰活動に活用する事業
- 【経済振興型】申請団体・事業名
なし

今後、地域づくり応援成事業への申請をお考えの方はもちろん、自分の住む地域でどんな活動が始まろうとしているのか知りたい方も大歓迎！当日は申込み不要、出入り自由です。

今年もやります！ 地域づくりオールスター祭！

☑ 皆さん、今すぐカレンダーに印をつけてください！

日にち：平成30年3月4日（日）

会場：木田暮らしの学校（浜田市旭町木田 485）



年度末の大イベント、地域づくりオールスター祭の開催日が決定！今年初めて西部（浜田市）での開催となります。詳細は近日公開予定ですので、みなさまお楽しみに！！

対象者：地域づくり団体やNPO法人のみなさん、田舎ツーリズムの実践者など

今月の和歌 歌わせて ポップにレゲエ ラブソング 刈って払って プンブン (島根県津和野町 金田信治さん) 第1回農業・農村はカッコいい！和歌募集 優秀賞作品



2017年度 ベネッセこども基金

- 締切日：平成30年1月5日(金)必着
- 助成内容：①経済的困難を抱える子どもたちの学び支援活動助成
②災害地の子どもたちの学びや育ちの支援活動助成
- 対象団体：上記テーマで活動を行っている以下の非営利団体
特定非営利活動法人・社団法人、社会福祉法人、財団法人等
- 助成金額：①②ともに、1件あたり100～200万円程度
- 問合せ先：(公財)ベネッセこども基金 TEL:04-7137-2570
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3733>



平成30年度 住まいとコミュニティづくり活動助成

- 締切日：平成30年1月10日(水)当日消印有効
- 助成対象：社会のニーズに対応した地域活動、住環境の保全・向上、地域コミュニティの創造・活性化、安心安全に暮らせる地域の実現、その他豊かな住環境の実現に繋がる活動
- 対象団体：営利を目的としない民間団体
- 助成金額：1件あたり120万円を上限とする
- 問合せ先：(一社)ハウジングアンドコミュニティ財団
TEL:03-6453-9213 FAX:03-6453-9214
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3723>



2018年度 音楽活動・ 国際交流・研究等への助成

- 締切日：平成30年1月10日(水)必着
- 助成内容：団体、個人を問わず電子楽器を活用したコンサートや音楽研究、海外での音楽活動を支援するための国際交流などに対し、助成金を支給
- 募集対象：①公演活動②講演会③調査・研究④国際交流
- 助成金額：1件あたり10万～200万円程度
- 問合せ先：(公財)かけはし芸術文化振興財団事務局助成応募係
TEL:03-6265-1821(9:30～17:00)
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3736>



2018年度 協働団体募集 「未来につなぐふるさと基金」

- 締切日：平成30年1月10日(水)当日消印有効
- 対象内容：生物多様性の保全・啓発を目的とした以下のいずれかに該当する市民参加型プログラムを協働で実施する団体を支援(①たべる②ふれる③つたえる④まもる)
- 助成金額：1団体あたり50万円
- 対象団体：NPO法人、一般法人、公益法人、任意団体など
- 問合せ先：(公財)パブリックソース財団事務局
TEL:03-5540-6256 FAX:03-5540-1030
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3724>



第19回 北川奨励賞

- 締切日：平成30年1月12日(金)必着
- 対象内容：難病や障がいをもつ子ども、その家族を支援する活動
- 対象者：難病や障がいをもつ子ども達とその家族に対して社会的な実践、セルフヘルプ活動、またはボランティア活動を進めており、すでに何らかの実践を行っている個人、または比較的小規模のグループ
- 助成金額：1件あたり50万円を上限とする
- 問合せ先：特定非営利活動法人コーポレートガバナンス協会
TEL:045-263-6965 FAX:045-263-6966
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3739>



平成30年度 公益信託 地球環境保全フロン対策基金

- 締切日：平成30年1月15日(月)当日消印有効
- 対象内容：オゾン層保護、地球温暖化防止に関する情報・知識の普及・啓発活動の助成①シンポジウム開催②教材の作成配布活動③環境教育活動④海外における活動⑤その他フロン類の大気排出抑制に関する各種活動
- 対象者：上記の活動を行う国内の民間団体
- 助成金額：1団体あたり100万円～500万円
- 問合せ先：公益信託地球環境保全フロン対策基金申請口
TEL:03-5232-8910 FAX:03-5232-8919
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3715>



2018年度 研究助成

- 締切日：平成30年1月31日(水)必着
- 内容：将来の住生活の向上に役立つ内容で、学術的に質が高く、社会的要請の強い、先見性や発展性が期待できる研究に対する助成
- 助成テーマ：①重点テーマ「おとなのための住まい学」②自由テーマ
- 助成金額：1件あたり100万円を上限とする
- 問合せ先：(一財)住総研 研究・実践助成担当
TEL:03-3475-3078 FAX:03-3275-3079
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3729>



国の始まりの聖地 出雲神話・ 日向神話連携フォーラム

- 開催日時：平成29年12月24日(日)13:00～16:30
- 内容：第1部シンポジウム「国譲り神話と古代出雲」藤岡大拙氏
「イザナキの禊と日向神話」矢野義典氏 第2部：対談
「神話が歴史を創る出雲神話と日向神話歴史ロマン」
- 会場：島根県民会館 3階大会議室
- 参加費：無料(先着200名・事前申込必要)
- 問合せ先：NPO法人出雲神話語り部の会 事務局
TEL:090-4143-3526(高倉) FAX:0852-52-2240
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3677>



住民みんなで楽しく地域を支える！

“わっしょい志々会”が活動する志々地区は、飯南町北西部の山間に位置している。人口は530人、2人に1人が高齢者だ。名前の「わっしょい」は、少子高齢化が進む地区にあっても、「元気出していこう！わっしょいとがんばろう！」とつけられた。そんな思いを胸に、同会の事務局員の桐原敏さんは、「せっかく生まれた所なんだし、自分で出来ることはしたい」と活動している。

桐原さんが活動をする際に大事にしているのが、住民による実態調査をふまえ、同会が掲げた次の二つの目標だ。①誰もが安心、安全に暮らせる志々地区を創り、②若い人が生計を立てられる志々地区を目指すというもの。こうした志をもとに、同会は、平成28年、地区に商店がなくなった為、お助けショップ『ささえさん』を開いた。食品、日用品、服、野菜の種といった様々な物を取り揃えている。その壁に、手作りのポスター「支える人 支えられる人みなボランティア」が貼られている。その言葉にあるように、住民同士が力を出し合い、助け合い、それぞれ無理のない形で、楽しく取り組んでいることが、活動継続の秘訣だ。

同会での桐原さんの活動は多岐にわたる。地域サロン『陽サロ2号店』に来るお年寄りや買物客の送迎、高齢者世帯等への声掛け訪問、食材や商品の買い出しなどを行っている。買い出しは、週1回から2回、出雲市や大田市まで出かけることもある。

また、サロンや配食での調理、声掛け訪問に参加するボランティアへの呼びかけやフォローも、桐原さん達事務局員の大切な仕事だ。

例えば、サロンの調理ボランティア（約30名）は、桐原さん達の声掛けによって1回あたり3~4名が集まり、「こんな調理法があるんだ」と情報交換しつつ、楽しく活動をしている。桐原さんは、日にちも時間も役割も、無理しないで続けてもらえるといった、ボランティアに出やすい環境づくりを大事にする。半年に1回、調理ボランティア参加者の「良い意味の」反省会を開く。否定ではなく、「こんなのがあったら良いね」といった前向きなもの。提案に対して「変えられるところはすぐ変える。疑問にも答えていく」という。一方、「楽しい」とサロンを利用する人達も、「行く」という気持ちになってサロンを盛り上げているボランティアだそう。

調理ボランティア・同会・サロンを利用する人達、三者三様の支え合いがそこにある。

桐原さんの今後の目標は、同会を法人化し、若い人が生計を立てられると共に、会の意思が継がれるようにしていくことである。地域で必要とされる仕事を把握しつつ、目標の実現のために、一歩ずつ確実に歩んでいる。（Y）



わっしょい志々会
事務局員 桐原 敏さん

昭和38年飯石郡飯南町志々地区生まれ。一時関東に出ていたが、飯南町に戻り、飯南町役場に勤めた。平成25年より“わっしょい志々会”の活動に関わり、平成28年度より志々地区の集落支援員も務める。趣味は「草刈り」と「除雪」とおっしゃるほど、地区の環境整備にも率先して取り組み、地区の皆が楽しく暮らせるようにしたいと、日々活動している。

主な活動

平成25年に任意団体“わっしょい志々会”が発足。地域サロン『陽サロ2号店』やお助けショップ『ささえさん』の開設・運営、配食サービスや高齢者世帯等への声掛け訪問を実施。住民主体で地区の実態調査を行い、地域課題に取り組んでいる。平成28年度地域づくり応援助成事業（立上げ支援）採択団体。



▲お助けショップ『ささえさん』



▲地域サロン『陽サロ2号店』

県内NPO情報 H29.11.30現在

1	県内NPO法人数	全体	283
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		0
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		67
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	41
		内レベル2	29

県民活動応援サイト Shimane IKIKI Hiroba
島根いきいき広場

<https://www.shimane-ikiki.jp/>

イベントの告知に！助成金情報の収集に！！「島根いきいき広場」をぜひご活用ください。

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

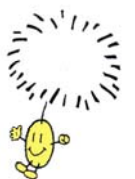
(しまね県民活動支援センター)

【松江事務局】

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

【石見事務所】

〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク
浜田 2階 石見産業支援センター「いわみぷらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中！

しまね県民活動支援センター（ふるさと島根定住財団）で検索してみてください♪